



プログラミング学習（小野田小学校、須恵小学校）

小野田小学校と須恵小学校の6年生が、県立小野田工業高等学校を訪問してプログラミング学習を受講しました。小学校から近いところにある工業高校の特色を生かして、小高連携を図る取組の一つです。児童は、電子情報科の教員とメカトロ部の生徒からFusionというソフトの使い方を教わり、ミニペン立てを作るための図面を作成しました。図形の大きさや形を自由に換えられるソフトに戸惑いながらも、イメージした図面がモニターに現れることを楽しんでいました。後日、3Dプリンターで作られた作品が学校に届く予定です。



しめ縄作り（埴生小学校）

藁をすぐる・よるという言葉に馴染みがないばかりか、体験したこともない小学5年生が、地域の方々に教わりながらしめ縄作りに挑戦しました。特に、藁をよっていく作業に苦戦しながらも、ボランティアの皆さんから「二人でやってみて」「ぎゅっと回して」「上手」「できたね」などと声をかけてもらって、全員が何とか作ることができました。終わりに、ゆずり葉と飾りミカンを付けて完成したしめ縄を見て満足そうなようすでした。「むずかしかったけど地域の方と一緒に作ることができてよかった」と振り返っていました。



ボランティア講演会（竜王中学校）

竜王中学校の1年生が、震災ボランティアとして活動しておられる講師から体験談を聞きました。講師は、本年1月に発生した能登半島地震の際に、困っている人を何とか助けたい、思ったことをその時にやっておかないと後悔するという思いから、被災地で仮住まいの建物を建てるボランティア活動をし、被災者に喜んでもらえてよかったと話されました。生徒たちは、講演後、「思うだけでなく行動していきたい」と振り返り、ボランティアの精神に触れるとともに、周りの人への心遣いや思いやりも考えていました。

